令和7年度 乳がん検診受診票 (マンモグラフィ)

45

住所		〒		ナンバリング				
カナ氏名		受診日		令和 7 年 月 日				
氏名				性別				
生年月日								
年度末年齢								
電話番号								
東金市乳がん集団検診受診歴	15 ☐	初めて もしくは4年以上前	16 ☐	1年前(※) (R6年度)	17 ☐	2年前(※) (R5年度)	18 ☐	3年前(※) (R4年度)
乳がん検診精密検査受診歴	19 ☐	なし	20 ☐	1年前(※) (R6年度)	21 ☐	2年前(※) (R5年度)	22 ☐	3年以上前(※) (R4年度以前)

(※) 受診した全ての年にチェックを入れてください。

問診事項 ※裏面を必ずお読みください。

(集検許可 あり・なし)

以下の太線枠内の問診事項で該当する□に“レ”を付け、カッコ内はご記入ください。
※ご記入に際しての注意点 黒のボールペンを使用してください。

- 妊娠中または妊娠の可能性がありますか
 106 いいえ はい ➡ 該当する方は、検査は受けられません
- 次の該当がありますか
 104 なし 105 あり
 豊胸術、ペースメーカー、植え込み型心電計 胸部にシャントやポート ➡ 医療機関で受診してください
 インスリンポンプおよび持続グルコース測定器を本日装着中 ➡ ※該当する方は受診できません
 135 なし 136 あり 乳房再建術 (右・左) ➡ 裏面注意事項2⑧参照
- 自覚症状
 23 なし あり
 医療機関で受診してください
 24 乳頭分泌がある (右・左) ➡ 色は
 25 しこりを触れる (右・左)
 26 痛みがある (右・左)
 29 血性 (黒・茶・赤色) ※該当する色に○を
 30 透明
 31 黄色
 32 その他 (白色等)
- 既往歴
 27 なし 28 乳房の病気をしたことがある 85 (歳) (右・左・不明) 86 (病名:)
 107 胸部に傷あと (手術・切開) がある 108 (歳) (右・左・不明) 109 (病名:)
- 血縁者で乳がんと診断された人はいますか
 110 なし 111 母 112 祖母 113 姉妹 114 伯(叔)母 115 その他 116 ()
- 生理は 35 なし (閉経) 36 あり
- 38 現在授乳中

以下の欄は記入しないでください (医師記入欄)

マンモグラフィ判定	78 ☐ 精検不要 79 ☐ 要精密検査	指 示	70 ☐ 自覚症状有精検 71 ☐ 遺伝外来 72 ☐ 至急精検
X線撮影番号	ナンバリング		

標準字体 《良い例》

縦線1本 すきまを開ける 上につきぬける 角をつくる 閉じる

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

*裏面の注意事項をよくお読みになり受診されますようお願いいたします。*氏名には必ずフリガナもご記入ください。

乳がん検診（マンモグラフィ）の注意事項

1. がん検診は無症状の方が対象です。次の項目に当てはまる方は医療機関で受診してください。

- ①自覚症状のある方（しこり、乳頭分泌）
- ②乳がんの既往歴がある方
 - 10年未満の方……………原則医療機関受診（ただし、主治医から検診の許可があった方は可能）
 - 10年以上の方……………医療機関にてマンモグラフィと超音波の両方を受診することが望ましい。
- ③現在医療機関で受診中または経過観察中の方
- ④豊胸術を受けた方（挿入物が破裂することもあります。）
- ⑤過去に豊胸術（シリコンバック、生理食塩水バック、脂肪注入、ヒアルロン酸注入など）を受け、現在は挿入物を除去している方（挿入物が残っていた場合精度が落ちてしまう可能性があります。）
- ⑥ペースメーカー、植込み型除細動器等人工物を挿入している方（強く圧迫して行う検査なので、ペースメーカー等に支障をきたす場合もあります。）
- ⑦シャントチューブ、ポートを挿入している方
- ⑧インスリンポンプ及び持続グルコース測定器等を装着したままでの検診（X線検査）はできません。詳しくは、別紙の注意事項をご確認ください。

2. 集団検診を受診する際の注意事項

- ①ワンピース、ジャンパースカートの着用は避けてください。
- ②授乳中の方は検査直前に搾っておいてください。
- ③五十肩（肩関節周囲炎）等でその動きに不自由を感じる方は事前に技師まで申し出てください。
（撮影は腕を肩の高さまで上げたり、肘を引いたりして行います。）
- ④乳房から脇にかけては、絆創膏、湿布薬等を貼らないようにしてください。
- ⑤制汗スプレー、パウダー、シート等は使用しないで来てください。
（スプレーやパウダーに含まれる成分が病変に似た陰影に写ることがあります。）
- ⑥妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、お受けいただくことができません。
- ⑦検査に支障が出るためお子様はバスの中には入れません。お子様同伴の場合は、スタッフにお声がけください。
- ⑧乳房再建術をしていない側は検査可能です。

3. 受診票記入の注意

- ・「現在授乳中」の人は、現在の自覚症状の「乳頭分泌がある」の欄にはチェックをしないでください。

※マンモグラフィの撮影技師は男性の場合もありますのでご了承ください。